



～犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ～

更生保護ボランティア“十和田地区更生保護女性会”

〒十和田地区更生保護女性会・東 ☎22-5721



「更生保護」って、どんな活動？

犯罪や非行に陥った人たちに対し、社会の中で立ち直りに向けた指導や支援を行うことにより、再犯を防ぐとともに、社会復帰と自立を助ける活動です。



「更生保護女性会」のこと

戦前から少年保護などを行っていた女性団体が前身となり、戦後、犯罪や非行に陥った子どもたちを母性と慈しみをもって救おうと、全国各地で結成されました。以来、更生保護女性会は60年以上にわたり、全国の地域社会に根差して活動しています。青森県には22地区に団体があり、十和田地区更生保護女性会もそのうちの一つです。

十和田地区更生保護女性会では、更生保護への理解と協力を得るための活動や、立ち直りの支援を行っています。また、次世代を担う青少年の健全な成長を願って、非行防止、健全育成や子育て支援も行っています。

十和田地区更生保護女性会の活動や、活動を通して感じていることについて、会長の東さんへお話を伺いました



十和田地区更生保護女性会
会長 東 静 さん



活動の様子

奉仕活動で感じた「普通の人」

県内の更生保護女性会が持ち回りで行っている活動の中に、月に1回程度、更生保護施設での奉仕活動があります。施設で生活している人たちにご飯を作り、一緒に食べて、おしゃべりをします。

はじめは「刑務所から出所した人だ」と多少怖さを感じるかもしれませんが、一緒に食事をして、会話をすると、彼らも「普通の人」なのだと分かります。「おふくろの味が久しぶりだった」なんて感想もいただきました。彼らと実際に会って、ご飯を食べて、他愛もない話をするのが、彼らへの理解や、社会の中での立ち直り、自立につながると思います。

「ひまわり」に思いを込めて

太陽に向かって花を咲かせるひまわりには、いつも温かく見守っているようなイメージがあり、更生保護のシンボルマークだと私たちは考えています。「見守っているよ」という思いを込めて、私たちはひまわりのプローチを手作りして、活動の際に身に付けています。

私たちが知ってもらうために

私たちは、社会を明るくする運動や、市社会福祉協議会が主催する夏休み子どもの居場所づくり「寺子屋」への協力、大会への参加など更生保護に関わる活動のほか、発表会で健康ダンスを踊るなど、私たちが身近に感じてもらえるよう、さまざまな場面で活動しています。

これから行われる秋まつりや、東コミュニティセンターまつりにも参加して、活動をPRする予定です。

楽しんで活動することで「地域のチカラ」になりたい

お互いが参加できる範囲で、楽しみながら活動することが、次へつながる力になると思っています。私たちの活動に興味がある人は、ぜひご連絡ください。一緒に、明るい地域社会をつくっていきましょう。



十和田地区更生保護女性会の皆さん

十和田地区更生保護女性会

昭和45年に結成されて以来、53年間にわたり市内を中心に活動している団体です。現在は、28人の女性会員が参加しています。

令和4年12月に、これまでの地域社会での活動が評価され「厚生労働大臣賞」を受賞しました。